



鴻巣市立下忍小学校

令和4年6月30日発行

学校だより

◎教育目標（目指す児童像）

「進んで学ぶ子」「思いやりのある子」「元気でがんばる子」

鴻巣市鎌塚10番地

TEL 548-2300

不寛容な時代に ～お互い様・おかげ様～

校長 野本 昌宏

6月から夏にかけてを描いた映画で印象深いものに「となりのトトロ」があります。サツキの妹メイがいなくなってしまう、村人たちがため池を探すときに「すまねえなあみんな。ご苦労でも手分けして頼むよ。」「いやあ、お互い様だから…。」というやり取りが、当時の地域の共同体の在り方を端的に示しているようで印象に残っています。

その「トトロ」の中で、何気ないシーンですが心に残っているのは、カンタが急な雨に困っているサツキとメイに傘を貸して自分は雨の中走って帰るシーンです。

私には、雨の中の登校に小学生の頃の苦い経験があります。通学班の班長だった私は、寒い雨の中お漏らしをして泣き出した下級生の班員に適切な言葉をかけることができず、何とか学校まで連れて先生に事情を話したことがありました。当時5、6年生だったと思いますが、兄弟やいとこの中でも一番年下だったこともあり、小さい子どもにどう接したらよいかわからなかったのです。それでも後日、下級生の母親からは、「大変な思いをさせてしまったね、」との言葉をいただきました。

昭和30年代は「交通戦争」といわれ、歩道やガードレールの整備が追い付かない中、安全を確保する手段として通学班による集団登校が取り入れられてきたということです。本校でも、集団登校はある時期から始まり今に至っているのでしょう。昭和30年代とは交通事情も大きく変わり、交通事故による死者数も減少傾向です。そのような中、集団で登校することが一度に多くの児童が交通事故にあう可能性の指摘がある一方で、児童を狙った誘拐や不審者から身を守る上で集団登下校は有効という指摘もあります。

中には、しっかりと班員の面倒を見ることができる班長もいますが、私の例を出すまでもなく、班長になったからといって全員が班員の様々な状況に適切に対応した行動がとれるわけではありません。経験や指導、周りの支援を得ながら徐々に班長としての役目が果たせるようになってくるのだと思います。何人もの異学年の子どもたちを連れて安全に登校することは、初めての経験の子どももいるでしょう。それは、班員も同じことです。初めての異学年の集団の中で適切なふるまいを身に身につけていく必要もあるでしょう。

集団登校は時代と共にその役目を終えるときが来るかもしれません。しかし。「交通戦争」の中より安全に登校するために当時の地域の共同体が「お互い様」「お蔭様」の気持ちで生み出した知恵や仕組みともいえるのでしないでしょうか。子どもたちの安全を願う大人たちの思いは昔も今も変わりません。

運動会 5月28日(土)

5月28日(土)に運動会を開催しました。今年も感染症予防対策をしながら、低・中・高学年のブロックごとの開催となりました。どの学年の子どもたちも今まで練習してきた成果を発揮し、堂々と発表することができました。子どもたちの成長が感じられた素晴らしい運動会となりました。



【低学年：メラメラ燃えろ！下忍ヒーローズ】



【中学年：下忍ソーラン2022！】



【高学年：はためけ！我らが下忍魂！】

6年生社会科見学

6月7日(月)に、昨年度は実施できなかった6年生社会科見学を実施しました。我が国の立法機関として、法律の制定や予算の議決、条約の承認を行っている国会議事堂を見学し、政治の働きについて考える。また、科学技術館では、科学技術の社会に対する役割と未来の可能性について考えを深めることができました。



第1回 学校評議員・学校評価懇話会

令和4年度の「第1回学校評議員・学校評価懇話会」が6月16日(木)に開催されました。当日は、委嘱状の交付や授業参観、それぞれの委員の皆様からご意見やご感想をいただきました。これからも『安心・安全で開かれた学校づくり』に努めてまいります。1年間よろしくお願いいたします。



学校評議員



学校評価懇話会委員

